



5月16日(土)
美濃西国霊場会の総会が行われました

さわやかな初夏の風が漂う5月16日、
美濃西国三十三観音霊場の各札所の和尚様方が集まれ
大智寺にて、年に一度の総会が行われました。

大智寺は、昨年より美濃西国霊場会の事務局を務めさせていただいており
かねてより何かこの霊場会発展のためにできることはないかと考えておりました。

今、インターネット環境は大きく変わってきており
家にパソコンがなくとも、スマートフォンで
様々な情報を得ることができます。
スマートフォンは旅先でも気軽に検索ができ
若い方々を中心に広まっています。
けれど従来のホームページの作り方では
スマートフォンの小さな画面で見づらいのが実態です。



現在、美濃西国霊場会の公式ホームページはありますが
この視点に立って、スマートフォンでも見やすいホームページを新たに
大智寺にて設計させていただくことを
今回の総会にてご提案させていただき、了承を得ることができました。



美濃西国霊場を巡礼される方々に、
より楽しく、より深い旅を味わっていただけるよう
今回大智寺が設計するホームページには
巡礼途中に立ち寄れるようなお食事処や
その地元ならではの土産屋さんや道の駅、
お菓子屋、酒屋など土着の個人商店も載せていき
地域全体のPRにつなげたいと考えています。

少しずつ自分達でお店の取材を進める予定ですが、
なにぶん世間知らずなのは否めません。
「よくこのお店いくよ」「この料理おいしいよ」
などイチオシお勧めのお店があれば、
ぜひ皆様から教えていただければと思います。
美濃西国霊場のお寺の近くで、寄り道ができそうな
そんなお店をご紹介ください。



美濃西国霊場は岐阜市、関市、山口市、美濃加茂市
美濃市、加茂郡にまたがっており、
バスツアーだと大急ぎで2日間で巡礼しますが、
総開帳の年以外は定年後の友達同士、夫婦で
一日2~3カ所ずつゆっくり巡礼される方が
ほとんどです。

そんな方々が地元ならではの楽しみに触れ、
充実した巡礼の旅を味わっていただけるよう、
努めたいと思います。

大智寺だより

平成27年水無月
Vol.64

発行所

大智寺

岐阜市山県北野
668-1

電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichiji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去のすべての紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

5月号発行部数
200部

ご愛読

ありがとうございます



個人で、団体で、 坐禅会



しとしとと梅雨が始まる頃、
仏教界では雨安居（うあんご）を迎えます。

雨安居とは、お釈迦様がご活躍されていた頃から始まり、
雨季におこなわれることからこのような名前になっています。

当時インドの修行僧は、日頃小さなグループを作って、
グループごとに修行をしたり、托鉢をしたりしていました。
けれど、雨期には草木が生え繁り、昆虫、蛇など数多くの小動物が活動します。
外で托鉢をしたり、活動をする、どうしても足もとの小動物を踏み殺してしまいます。
そのため雨季には各グループが一同に集まり一カ所に定住し、外での活動を控えることで
小動物に対する無用な殺生を防ごうとしました。
外には出ず、坐禅修行専一となるこの期間を「雨安居」といいます。

最近、お近くの岐阜市少年自然の家に合宿される少年野球団の子ども達が
40人ほどで坐禅体験を企画されたり、
女性同士5人ほどのグループが定期的に坐禅を組みにいらっしたり、
大智寺の本堂をご活用していただいております。



和尚が付き添えないことが多いのですが、返ってそれが良いようで、
自主的に皆さん黙々と本堂の静かな空間で坐禅されています。
「坐禅をしたい」という方は、お気軽にご相談ください。

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc
わからないこと 質問帳 ⑭



「お仏壇の中にある古～いお位牌ってどうしたらいいの？」

だいたい自分よりさかのぼって、三代前のご先祖様は直接会ったこともない親族です。
昔から引き継いでお守りしてきたお仏壇の中には、明治大正さらには江戸時代以前のお位牌が
祀られていることもあるのではないのでしょうか。
子ども世代が家を守るようになりお仏壇やお位牌の守り方を家族で話し合う機会があるかもしれません。
「さてお仏壇を掃除しようとしても、お位牌がたくさんあって大変」
という若いお嫁さんの声も聞こえてきそうです。

大智寺では一応お檀家様のご供養は、50回忌で弔い上げとさせていただきます。
それに合わせて、本堂に安置されているお位牌も下げさせていただきます。

この50回忌が済んでいるご先祖様については、
例えば何柱かのお位牌をまとめて繰位牌（くりいはい）にし、
古いお位牌をお焚き上げすることができます。

通常繰位牌には、10人分ほどのご戒名が掘れるようになっていきますので、
お仏壇の中がかなりすっきりするのではないのでしょうか。

お焚き上げをご希望されるお位牌は、精抜き（しょうぬぎ）のお経を唱えさせていただいた上で
一年間集まったものをまとめて1月15日に大智寺にてお焚き上げ致します。

日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』



お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31ページより

⑭

「^{くげん}苦患に沈む ^{ともがら}輩は 大地の土のごとくなり」

さてたくさん命が生まれてくる中で、人間として生まれてくることは、爪の上に乗ったわずかな土のように少なく、まれであり、ほぼあり得ないことであるのに対し、「三悪道」つまり地獄道・餓鬼道・畜生道に落ちて苦しむ者は、大地の土ほどたくさん無限にいる、と説いています。

でも、本当に自分は爪の上に乗った土（人間）でしょうか。人の不幸を望んでみたり、陰口を言って人をおとしめようとしたり、心の中は地獄だったりしませんか？ 食べ物、金品、バッグや洋服、家や財宝、何でも「ほしい、ほしい」と餓鬼のように飢えてませんか？ 愚痴不平を多く言い、野生的な本能（食欲・睡眠欲・性欲）ばかり強情なケダモノの心はありませんか？

私達は、両親が命を宿してくれたおかげで生まれてきました。自分の両親、性別、家、身体、これらはお腹の中にある間に決まる「宿命」です。そして私達は、このいただいた命を色々なところに運ぶことができます。そこで人と出会い、考え方と出会い、仕事と出会い、「運命」の出会いがあります。



仏法との出会いもまた、大切な運命です。三悪道に堕ちず人間として豊かに生活してゆく智慧（仏法）との出会いについて、次回以降続きます。

今月のひまわり

早いもので梅雨の季節を迎えました。夜にはカエルの合唱が途切れることなく枕元まで聞こえてきます。水が張った田んぼで小さな苗がそよよ揺れる頃、皆様お変わりありませんか？

一昔前、大智寺は境内中アジサイでいっぱいでした。まだ幼かった私は、雨の降るの日など花の重さで倒れ掛かるアジサイを、黄色い傘で押し上げながら歩いたもので、アジサイの露にぬれているのか、雨でぬれているのか、手足がよく濡れたものでした。たいていの花は枯れれば自然に落ちますが、アジサイはなぜか冬までドライフラワーが残ります。これが生きているのか死んでいるのか、いつそれは決まったのか、茎のどの部分が境なのか、人間の場合はどうなのか、すいぶん哲学的なことを学校の行き帰り悶々と考えさせられたものでした。

生と死がくっついていて不思議な花は、人間が剪定しなければ翌年さらに高い所に花をつけます。そうやって死をくっつけたまま巨大化した野生アジサイは、お仏壇のお位牌を大切に守り続ける一家の繁栄を表しているようにも思えます。今生きる者と過去去生きた者どちらも対等に堂々と表舞台に立っているようで底知れない力強さを感じます。

生があり死を迎えて終わりではなく、生死生生死死という時代を越えた命のつながりが真実なのだ、私はアジサイに学んだ気がします。今年もそろそろアジサイが色付く頃ですね。

シリーズ 北野のおばあちゃんの味

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

バター醤油の香りがたまらない ホクホク新じゃがいも

- ① 新じゃがいもを皮つきのままひと口大に切る。
- ② 鍋で柔らかくなるまでじゃがいもをゆで、ザルにあけ水を切る。
- ③ バター10g、しょう油大さじ1と半分、砂糖小さじ1、みりん小さじ2を鍋に入れて温め、じゃがいもを入れる。
- ④ 弱火でじゃがいもを転がしながら煮からめて、できあがり。

新じゃがいもの中でも親指と人差指で作る丸ぐらいの大きさのものを集めてよく洗って皮つきのまま食べるんやよ。バター入れると子どももよく食べるよ。





～ うちの宗教って、どんなんやっけ? ～

第二十六回：食事五観文 ②



大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話

私達仏教徒は、食事をする際にどんなことを思い「いただきます」と手を合わせるのか、この食事五観文にやさしく説かれています。ご家庭の食卓を囲む時、ほんの少し思い出していただければと思います。

「二つには、己が徳行の全欠をはかって供に^{おのれ とくぎょう ぜんけつ}応ず^{く おう}」

昔、中国に百丈懐海（ひゃくじょうえかい）という大変立派な禅僧がおり、老齢になられても毎日の作務（掃除）を怠りませんでした。

弟子達は師のご老体を案じて、「掃除は自分達でやればいい、師には休んでもらおう」と気をきかせ、ある日、百丈禅師の用いる掃除道具をこっそり隠してしまいました。道具がなくなった百丈禅師は、作務をせず部屋にひきこもりますが、その日から食事をされなくなってしまいました。

弟子の一人が心配し、「どうして食事を召し上がらないのですか?」と尋ねると「一日作（な）さざれば、一日食（くら）わず」と一言お応えになられたとのこと。



これは世に言う「働かざる者食うべからず」の精神ではなく、「今日一日の自分の行いを考えると、とても食事を頂けない」という自分に対する深い反省の精神です。



自分の積んだ徳行を常に振り返りつつ、「供」つまり食事に応じる心を説いています。

♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

6月24日（日） 一回 500円
(朝8時～9時) (内 300円は義援金)
要申込

5月写経会 備忘録

ヤマボウシの花が満開を迎えた5月の日曜日。朝のすがすがしい空気の中、9名でお写経に取り組みました。お経の後には、落語「稽古屋」を見ながら、目的と手段がまったくわかっていない主人公の姿をヒントに「無明」について考えました。実際自分が存在する不思議、命の誕生の不思議、何もかもよくわからない「無明」でありつつ、現在進行形で私達は体験しており「無無明」であります。

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めてまずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓
1区画：38万円～
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りの方がいなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒にごひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから「完全個別永代供養墓」といいます。詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、ご予約の上 ご来山ください。